

令和4年度福岡県体育・スポーツ研修報告会実施要項

福岡県体育・スポーツ研修報告会実行委員会

1 目的

福岡県の体育・スポーツ関係機関・団体が取り組んだ研究・研修の成果や所属する長期派遣研修員の研究の成果を合同で報告することにより、県内体育・スポーツ関係指導者の資質向上に努めるとともに、本県体育・スポーツの充実・振興に寄与する。

2 主催

福岡県教育委員会 福岡県体育研究所 福岡県立スポーツ科学情報センター
福岡県高等学校体育連盟 福岡県高等学校保健体育研究部会

3 共催

福岡県中学校保健体育研究会 福岡県小学校体育研究会 福岡県中学校体育連盟
公益財団法人福岡県スポーツ協会 公益財団法人スポーツ安全協会福岡県支部

4 主管

福岡県体育・スポーツ研修報告会実行委員会（事務局：福岡県体育研究所）

5 日時

令和5年2月17日（金） 9：30～16：30（開場：9：00～）

6 会場

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）
福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号

7 対象

県内の小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校及び特別支援学校の教職員
県及び市町村教育委員会の職員、関係教育機関の職員、地域スポーツ関係指導者等

8 日程

別紙のとおり

9 参加申込

チラシ・ポスターにあるQRコードを読み取るか、福岡県体育研究所ホームページよりお申し込みください。（終日の参加を原則としますが、午前・午後のみ参加も可とします。）

一般参加の申込みの締切りは、令和5年2月3日（金）です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催方法が変更になることがあります。詳しくは、令和5年2月1日（水）を目処に体育研究所ホームページにてお知らせします。

10 留意事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意すること（詳細はチラシ裏面を参照）。
- ・ 駐車場には限りがあること（プール前駐車場は使用禁止）。

日時: 令和5年2月17日(金)9:30~16:30(開場:9:00~)
 会場: 福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)

別紙

時間	会場及び内容	
	メインアリーナ	第3・4研修室
9:00 ~9:30	受付	
9:30 ~9:45	開会行事	
10:00 ~12:10	研修報告①【第1分科会】 ○《福岡県体育研究所》 「体育自己効力感を高める保健体育科学学習指導」 ~ルートマップを活用した学習活動を通して~ 八女市立立花中学校 教諭 立石 哲平	研修報告①【第2分科会】 ○《福岡県立スポーツ科学情報センター》 「スポーツビジョンに関する研究」 ~ジュニアアスリートにおけるビジョントレーニングの有効性についての考察~ 福岡県立福岡魁誠高等学校 教諭 前園 諒
	○《福岡県中学校保健体育研究会》 「快い運動感を味わう生徒を育てる保健体育科学学習指導法の研究」 ~球技の運動局面におけるフィードバック活動を位置づけた学習過程を通して~ 朝倉市立甘木中学校 教諭 山下 大樹	○《福岡県体育研究所》 「運動やスポーツとの多様な関わりを実践できる生徒を育てる保健体育科学学習指導」 ~動きの可視化の活用を通して~ 福岡県立中間高等学校 教諭 隈本 真
	○《福岡県中学校体育連盟》 「運動部活動の地域移行についての調査研究」 ~日本中体連研究大会のアンケートを通して~ 福岡市立老岐中学校 教諭 木村 慶太郎	○《福岡県立特別支援学校知的障がい教育校体育連盟》 「知的障がいを有する生徒Aが自己の体力を知り、体力の向上を目指した保健体育科指導の在り方」 ~食事と運動の関連を意識した指導を通して~ 福岡県立川崎特別支援学校 教諭 丹村 美咲
13:10 ~14:35	研修報告②【第1分科会】 ○《福岡県体育研究所》 「運動遊びを楽しむ子供を育てる低学年体育科学学習指導」 ~思考を促す発問を通して~ 嘉麻市立嘉穂小学校 教諭 小田 珠樹	研修報告②【第2分科会】 ○《福岡県高等学校保健体育研究部会》 「思考力、判断力、表現力を高める保健体育科の授業の実践」 ~リフレクションシートや電子ホワイトボードを活用した課題解決の過程を通して~ 福岡県立八幡中央高等学校 教諭 大野 美弥 福岡県立若松商業高等学校 教諭 松浦 久美
	○《福岡県小学校体育研究会》 「体育の見方・考え方を働かせ、課題解決を図る体育科学学習指導」 ~第5学年表現運動を通して~ 遠賀町立浅木小学校 教諭 西住 秀一郎	○《福岡県高等学校体育連盟》 「福岡県高体連 HP を活用した取組」 ~強豪校の卓球部~ 福岡県立明善高等学校 教諭 樂山 京介
14:50 ~16:20	体育研究所調査研究事業報告 シンポジウム 「共生を基盤とした体育の授業づくり」 福岡教育大学 教授 本多 壮太郎 日本女子体育大学 教授 高橋 修一 横浜国立大学 教授 梅澤 秋久 実践協力者3名	
16:20 ~16:30	閉会行事	

※研修報告の主題・副主題は変更になる場合があります。